

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 18 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 20 日 作成

事務事業名		マタニティ学級実施事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連										
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部	課長名	中山 輝一郎								
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり		所属課	健康づくり推進課	担当者名	太田 真由美								
	基本事業	59	地域における子育て支援		所属班	健康推進班	(内線)	2169								
予算科目	会計	1	款	4	項	1	目	6	事業連番	10593	法令根拠	母子保健法	成果優先度評価結果		コスト削減優先度評価結果	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 昭和40 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)												

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・妊婦を対象に、安全に出産できるよう、友達づくりの場として前期・後期・赤ちゃんふれあい体験を1クールとし、妊婦同士のフリートークキングを中心に実施。栄養について調理実習と試食を行い、赤ちゃんを守る制度についてや、妊婦疑似体験、沐浴指導などを実施。母子健康手帳交付時に事業の説明を行いパンフレットを配布。対象者を抽出し、案内のハガキを郵送。申し込みを受け付ける。材料を発注し、実施後評価を行う。 ・昭和40年に公布された母子保健法の施行後、平成9年の母子保健法改正により身近な市町村に移譲され、生涯を通じた女性の健康支援として開始した。・新興住宅の増加に伴いベッドタウン化が進み、また核家族化のため、友達や親戚など相談相手が近くにおらず妊娠・出産・育児をする人が増え、ニーズは増加している。
【業務の流れ】	栄養士が栄養講話を実施、妊娠中の生活についてや出産後の制度の説明、妊婦疑似体験・沐浴指導を保健師が実施。
【主な予算費目】	賃金(助産師、栄養士)、需用費(消耗品費、印刷製本費)、役務費(通信運搬費)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	参加者からは、友達ができ、妊娠中のみならず出産後も相談しながら子育てできる仲間ができて本当に良かった。妊娠中や育児の不安解消になった。沐浴の練習が出来て、実際に役に立った。妊婦疑似体験をして、妊婦の気持ちが分かったという夫の意見など多く聞かれる。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
前期6回、後期6回、赤ちゃんふれあい体験4回	21年度同様、前期6回、後期6回、赤ちゃんふれあい体験4回実施する。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ ア 参加者数	人 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
妊婦(夫や祖父母の同席可)	⇒ ア 妊婦 人 ⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
妊娠・出産について学んだり、妊婦同士の友達づくりの場を提供することにより、育児不安の解消を図る。また、安全な出産につなげることができる。	⇒ ア 参加者の満足度(60%以上) % ⇒ イ 参加率 %
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア 人	166	146	180	182	204	240		
	イ								
⑤ 対象指標	ア 人	572	560	580	565	590	6,000		
	イ								
⑥ 成果指標	ア %	100	98.7	100	99	100	100		
	イ %	29.0	26.1	35.0	32.2	35.0	35.0		
投資入量	国庫支出金	千円		254	182	182	45	182	
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	534	254	299	297	409	299	
	(A) 事業費計	千円	534	508	481	479	454	481	0
(A)のうち指定経費	千円								
(A)のうち時間外、特勤	千円								
人件費	正規職員従事人数	人	1	8	8	8			
	延べ業務時間	時間	480	430	480	352			
	(B)人件費計	千円	1,906	1,720	1,910	1,401	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,440	2,228	2,391	1,880	454	481	0	

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	0
	0
	0
	0

事務事業名	マタニティ学級実施事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	-------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策